



ぽかぽか



筑西市のケアマネジャーに黒川院長が講演

協和中央病院ケアマネジャー

池田 玲子

筑西市介護支援専門員連絡協議会（会長 三浦 誠さん 県西せいかん荘）の総会が、6月13日に協和中央病院で開かれ、総会後の研修会で、協和中央病院の黒川院長より「フレイルと地域包括ケア病床の役割 “ケアマネと医療機関を結ぶ”」というテーマで、ご講演いただきました。

講演は、我が国の高齢社会、要介護者の医療費や介護給付費などの社会保障費について、将来を予測したマクロの視点に始まり、運動や栄養、口腔機能を保ちながら、要介護状態にならないよう予防することの大切さや、既に要介護状態になった方には、更なる介護予防が重要であり、共に健康寿命を延ばす具体的な方法として、ミクロの視点から、分かり易く丁寧に講演が進められました。

特に、地域包括ケアシステムの中の医療の役割として、フレイル（虚弱、老衰など）及び、サルコペニア（身体機能の低下）について現象、原因、改善法や予防に医療がどう向き合っていくべきか。自宅や施設で暮らしている高齢者がフレイルやサルコペニアに陥り、QOL（生活の質）が低下したときに、地域包括ケア病床に一時入院し、運動や栄養、口腔の専門職が直接介入することにより、再び元の生活に戻ることが重要であると強調されました。

更に、居宅のケアマネジャーが、高齢者や要介護者の健康状態を判断するポイントとして、意識、呼吸、血圧、脈拍、体温の簡易評価法、判断基準、医療機関への情報提供などについても、分かり易く、優しくお話しいただきました。

90分の講演でありましたが、参加者約90名のケアマネジャーは、フレイルやサルコペニアが疑われる自らが担当する利用者の顔を思い浮かべ、真剣に聴講していました。黒川院長、有難うございました。



茨城県ケアマネジャー協会筑西地区会が設立

茨城県ケアマネジャー協会 筑西地区会 幹事
協和中央病院ケアマネジャー
脇田 信一

黒川院長の講演に先立って行われたケアマネジャーの定期総会において、一般社団法人 茨城県ケアマネジャー協会の筑西地区会が設立されました。

介護保険制度が始まった平成12年に、筑西市介護支援専門員連絡協議会としてスタート。年数回の研修会を企画し、ケアマネジャーの学識レベルの向上に努めて参りましたが、今後は日本ケアマネジャー協会、茨城県ケアマネジャー協会の下部組織としての位置付けのもと、学術活動に加え、ケアマネジャーを取り巻く法律や制度などに、自分たちの意見を提起することができる職能団体として、活動の幅が広がることとなります。

筑西地区会は、会長に現会長の三浦 誠さん（県西せいかん荘）が就き、副会長2名、数名の幹事並びに監事が役員となり、規約案、令和元年度の事業計画が承認され、茨城県内13番目の地区会として設立されました。

当面は、筑西市介護支援専門員連絡協議会との両輪で活動し、市内4ヶ所の地域包括支援センターと協働で、筑西市内全てのケアマネジャーが、平等に研修が受けられる体制が保たれることとなります。

私たち協和中央病院では、地区会の事務局をお受けすることになり、微力ですが地区会の運営に力を注いで参りたいと思いますので、皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



編集後記

新天皇が即位され、新たな元号「令和」となり、初めての夏がやってきました。

今号は、6月13日に開催された黒川院長による講演会と、茨城県ケアマネジャー協会筑西地区会の設立について掲載しました。

地域におけるケアマネジャーの役割が重要になってきたことを感じ、身の引きしまる思いです。今後、ケアマネジャーに関することも、ぽかぽかで掲載していきたいと思っておりますので、介護保険のサービスを受けていらっしゃる方には、ぜひ読んでいただきたいと思っております。

熱中症や食中毒などに気をつけて、暑い夏を乗りきりましょう。

(渡邊・栗原・笠倉・中莖)

★ ご意見・ご連絡先 ★

医療法人 恒貴会 協和中央病院
医療福祉支援相談室
発行責任者 青柳 利之

〒309-1195
茨城県筑西市門井1676番地1

TEL 病院代表 0296-57-6131
居宅介護支援直通 0296-57-7205
医療福祉相談直通 0296-57-7230
(休日・夜間 090-6935-3337)

FAX 0296-57-4676
URL <http://www.kyowachuo.jp>
Eメール renkei@kokikai.com

